

第六次函南町総合計画
町民意識調査
(まちづくりアンケート)

報告書

平成 28 年 10 月

函 南 町

1. 調査の概要	1-1
1.1 目的	1-1
1.2 調査の内容	1-1
1.3 調査の設計	1-1
1.4 回収結果	1-1
2. 回答者属性	2-2
2.1 性別	2-2
2.2 年齢	2-2
2.3 居住地域	2-3
2.4 居住年数	2-3
3. 単純集計編	3-4
3.1 定住意向について	3-4
3.1.1 定住意向	3-4
3.1.2 住みやすいと思うところ	3-5
3.1.3 住みにくいと思うところ	3-6
3.2 函南町の現状について	3-7
3.2.1 現在の町の取り組みについて	3-7
3.2.2 今後力を入れてほしい事柄	3-19
3.3 まちづくりの目標について	3-24
3.3.1 まちづくりの目標として重点的に進めたい施策	3-24
3.3.2 まちづくりの目標	3-25
3.4 地域連携の推進について	3-26
3.4.1 参加したことがある地域活動	3-26
3.4.2 参加してみたい地域活動	3-27
3.5 幸福度について	3-28
3.5.1 現在の幸福度について	3-28
3.5.2 幸福度を判断する際に重視する事項	3-29
3.6 土地利用について	3-30
3.6.1 土地利用の現状について	3-30
3.6.2 不満と思うところ	3-31
3.6.3 将来の土地利用の方向性	3-32

1. 調査の概要

1.1 目的

本調査は、函南町の満15歳以上の男女を対象に、町の取り組みについての満足度等を把握するとともに、町の将来に対する希望や将来像などを伺い「第六次函南町総合計画」の策定のための基礎資料とすることを目的として実施したものである。

1.2 調査の内容

- ・回答者の属性
- ・定住意向について
- ・町の取り組みについて
- ・まちづくりの目標について
- ・地域連携の推進について
- ・幸福度について
- ・土地利用について
- ・その他自由意見

1.3 調査の設計

- (調査地域) 函南町全域
(調査対象) 函南町在住の満15歳以上の男女
(標本数) 2,000人 ※この他、自治会経由で調査票を配布
(調査方法) 無作為抽出 ※自治会経由での調査は、直接配布・直接回収
(調査期間) 平成28年7月1日～平成28年8月31日

1.4 回収結果

- (発送数) 2,000人
(回収数) 718人 (回収率 35.9%)
(有効回収数) 717人 (有効回収率 35.9%)

これに、各自治会にて調査票を直接配布し、579人の回答を加えた1,296通で集計を行った。

2. 回答者属性

2.1 性別

●性別は、「男性」(57.4%)が「女性」(39.4%)より18ポイント多くなっています。

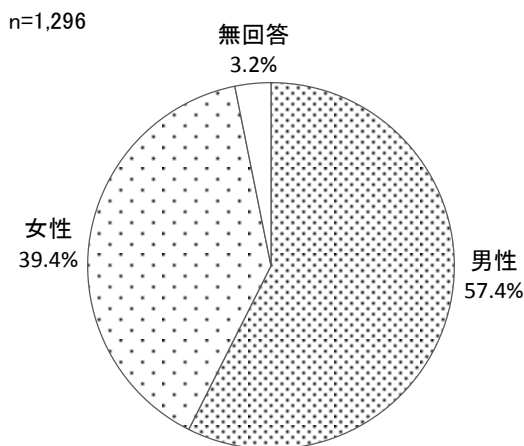


図 2.1 性別

2.2 年齢

●年齢は、「70歳以上」(25.3%)が最も多く、次いで「65～69歳」(16.1%)、「60～64歳」(13.4%)、「55～54歳」(9.1%)と続きます。

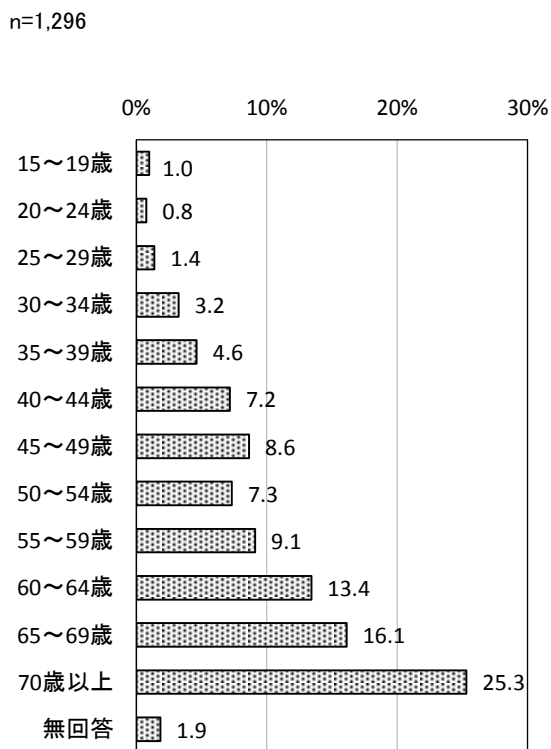


図 2.2 年齢

2.3 居住地域

●居住地域は、「間宮」(11.6%) が最も多く、次いで「仁田」(9.5%)、「柏谷」(9.2%)、「塚本」(8.7%) と続きます。

居住地域					
項目名	回答数	構成比 (%)	項目名	回答数	構成比 (%)
仁田	123	9.5	丹那	19	1.5
大土肥	39	3.0	畑	13	1.0
上沢	70	5.4	軽井沢	11	0.8
八ツ溝	17	1.3	田代	4	0.3
新幹線	16	1.2	鬻の沢	6	0.5
柏谷	119	9.2	細沢	-	-
畑毛	39	3.0	六本松	1	0.1
平井	97	7.5	奴田場	8	0.6
病院	2	0.2	ダイヤモンド	107	8.3
城山	10	0.8	エメラルド	7	0.5
柿沢台	30	2.3	桑原	42	3.2
白道坂	14	1.1	大竹	26	2.0
宝蔵台	20	1.5	冷川	11	0.8
鶴巻	5	0.4	冷川団地	-	-
間宮	150	11.6	函南	11	0.8
塚本	113	8.7	パサディナ	42	3.2
肥田	39	3.0	ヒューマンヒルズ	10	0.8
日守	24	1.9	無回答	35	2.7
新田	16	1.2			
合計				1,296	100.0

図 2-3 居住地域

2.4 居住年数

●居住年数は、「25年以上」(54.9%) が最も多く、次いで「15年～24年」(16.7%)、「10年～14年」(9.8%)、「5年未満」(8.7%)、「5年～9年」(7.5%) と続きます。

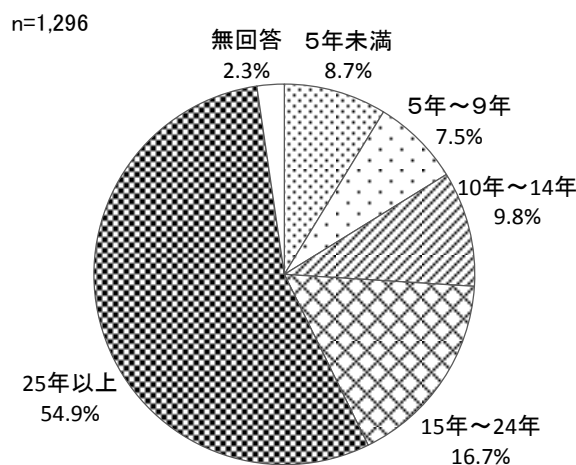


図 2-4 居住年数

3. 単純集計編

3.1 定住意向について

3.1.1 定住意向

問 1-1 定住意向

あなたは函南町に今後も住み続けたいと思いますか。

次の中から、あなたのお気持ちに近いものを 1つ選び、○印をつけてください。

「今後も住み続けたい」人が

7割を超える

- 定住意向は、「今後も住み続けたい」(73.5%)が最も多く、「どちらともいえない」(17.7%)、「できれば町外へ移りたい」(5.9%)と続きます。

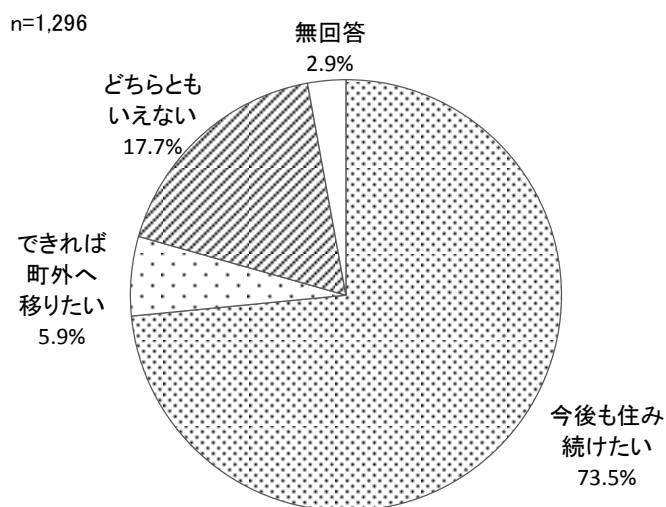


図 3.1 定住意向

3.1.2 住みやすいと思うところ

問 1-2 住みやすいと思うところ

問 1-1 で 1 とお答えいただいた方にお聞きします。

函南町の良いところ、住みやすいと思うところを次の中からあてはまるものを全て選び、○印をつけてください。

良いところ、住みやすいところは
「自分（家族）の土地（または住まい）があるから」が最も多い

●住みやすいと思うところは、「自分（家族）の土地（または住まい）があるから」（82.6%）が最も多く、「自然環境がよいから」（55.9%）、「周りとの人間関係がよいから」（34.6%）、「交通の便がよいから」（32.1%）と続きます。

n=952

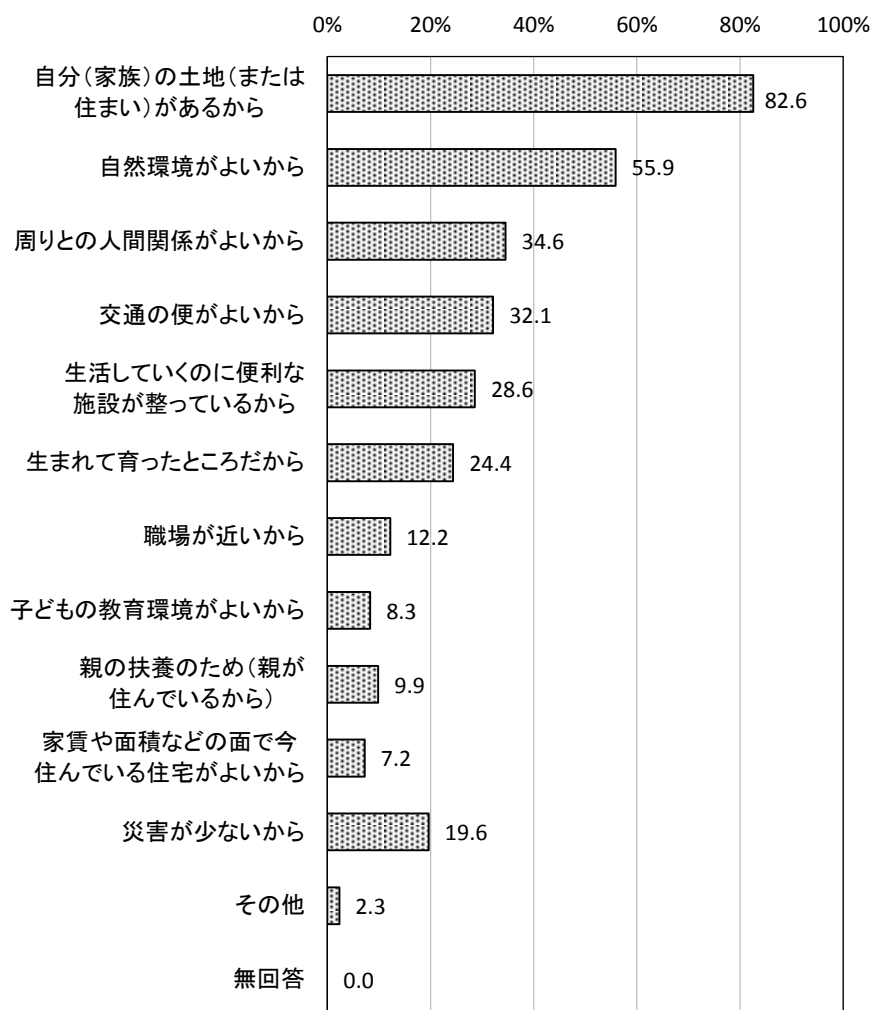


図 3.2 住みやすいと思うところ

3.1.3 住みにくいと思うところ

問 1-3 住みにくいと思うところ

問 1-1 で 2 とお答えいただいた方にお聞きします。

函南町の嫌いなところ、住みにくいと思うところを次の中からあてはまるものを全て選び、○印をつけてください。

嫌いなところ、住みにくいと思うところは
「交通の便がよくないから」が最も多い

●住みにくいと思うところは、「交通の便がよくないから」(54.5%)が最も多く、「生活していくのに便利な施設が整っていないから」(39.0%)、「その他」(32.5%)、「周りとの人間関係がよくないから」(19.5%)と続きます。

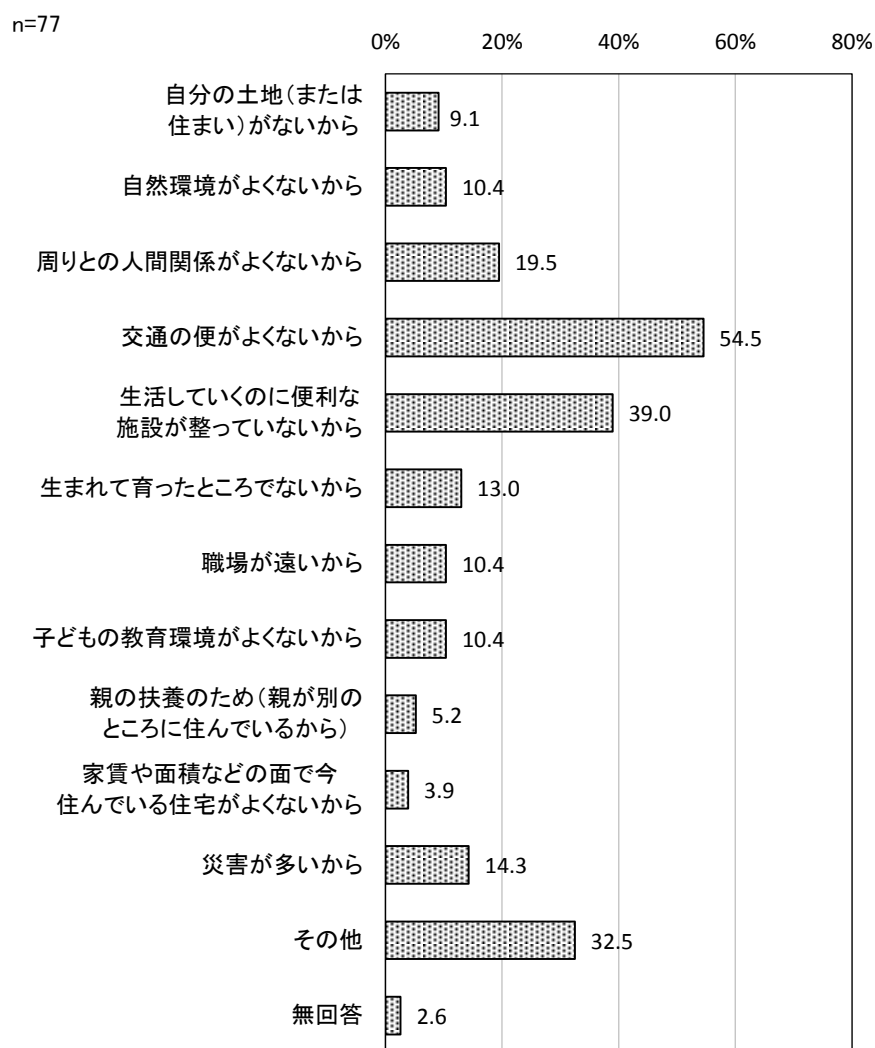


図 3.3 住みにくいと思うところ

3.2 函南町の現状について

3.2.1 現在の町の取り組みについて

問 2-1 現在の町の取組について

現在の函南町に対するあなたの印象についてお尋ねします。

函南町での日常生活や環境などに次に挙げる各項目についての、満足度（評価）と重要度についてそれぞれの項目ごとに、あなたのお気持ちに最も近いものを1つずつ選び、○印をつけてください。

(1) 現在の満足度

1) 居住環境

**居住環境で、満足は「自然の豊かさ」
不満は「国道、県道以外の生活に密着した道路の整備状況」**

●居住環境で満足しているもの（非常に満足+まあ満足の評）は、「自然の豊かさ」（84.0）が最も多く、「ごみの収集状況」（67.5%）、「水道の整備状況」（66.2%）と続きます。

●居住環境で不満なもの（非常に不満+やや不満の評）は、「国道、県道以外の生活に密着した道路の整備状況」（31.6%）が最も多く、「地域の交通安全対策」（20.7%）、「下水道の整備状況」（19.3%）と続きます。

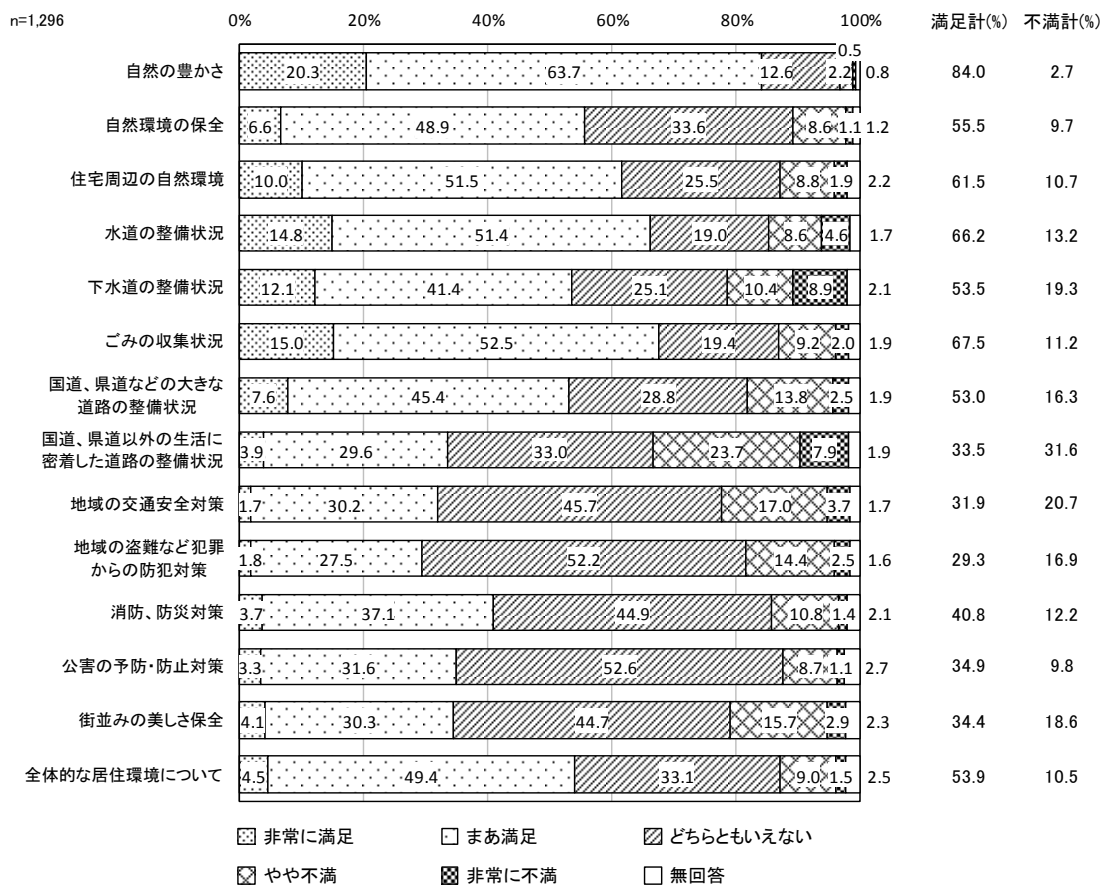


図 3.4 現在の満足度 1)居住環境

2) 生活環境

生活環境で、満足は「日常の買い物の便利さ」
不満足は「鉄道やバスなどの公共交通の状況」

- 生活環境で満足しているもの（非常に満足+まあ満足の前）は、「日常の買い物の便利さ」（55.5%）が最も多く、「銀行や郵便局などの金融機関の立地状況」（53.0%）と続きます。
- 生活環境で不満なもの（非常に不満+やや不満の前）は、「鉄道やバスなどの公共交通の状況」（47.6%）が最も多く、「娯楽施設や余暇施設（公園など）の立地状況」（32.5%）と続きます。

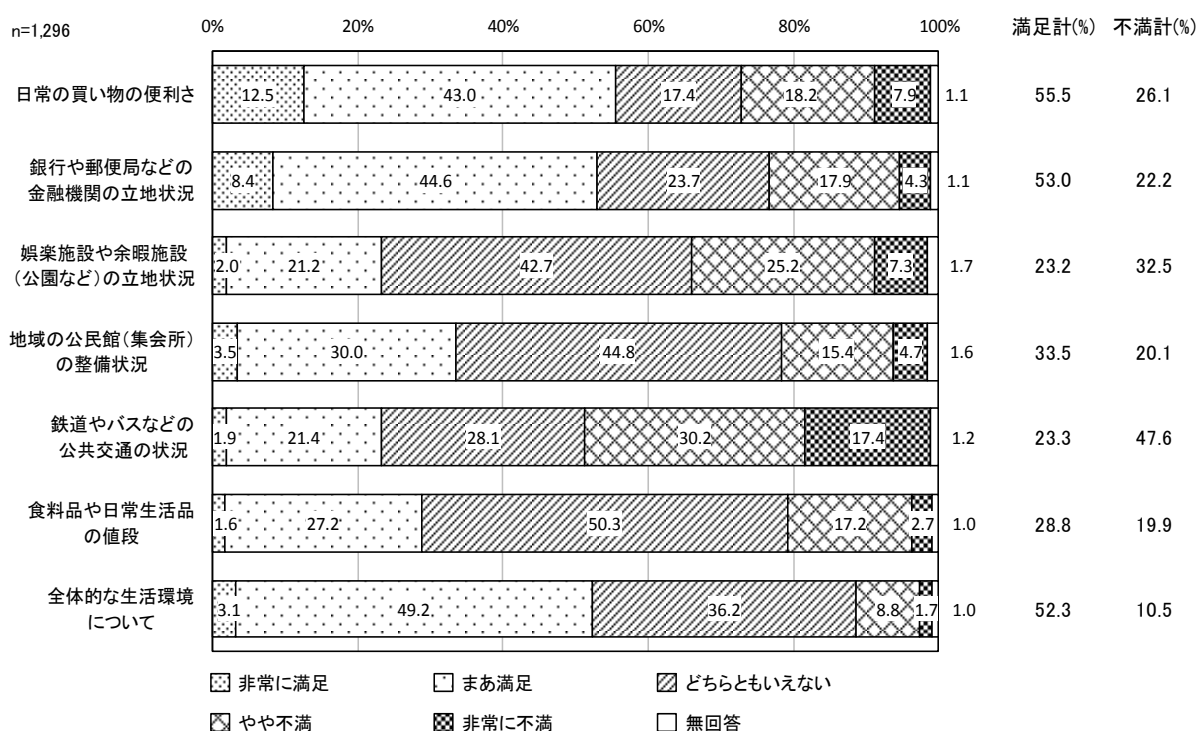


図 3.5 現在の満足度 2)生活環境

3) 産業環境

産業環境で、満足はいずれも少ない割合
不満は「働く場所や就業機会の多さ」

- 産業環境で満足しているもの（非常に満足+まあ満足の計）は、10%台以下と、いずれも少なくなっています。
- 産業環境で不満なもの（非常に不満+やや不満の計）は、「働く場所や就業機会の多さ」（37.9%）が最も多く、「工業の振興・整備状況」（24.2%）と続きます。

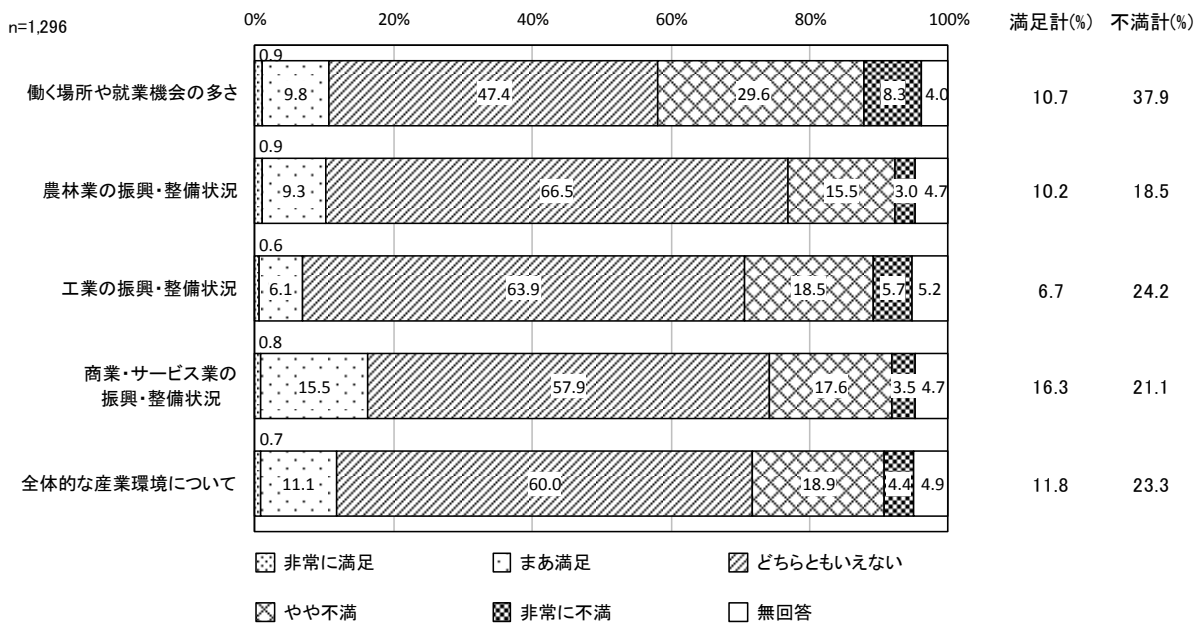


図 3.6 現在の満足度 3)産業環境

4) 保健・医療・福祉環境

保健・医療・福祉環境で、満足は「住民検診などの保健予防体制」
不満足は「緊急医療体制」

- 保健・医療・福祉環境で満足しているもの（非常に満足+まあ満足）の計は、「住民検診などの保健予防体制」（54.0%）が最も多く、「医療機関の整備状況」（40.6%）と続きます。
- 保健・医療・福祉環境で不満なもの（非常に不満+やや不満）の計は、「緊急医療体制」（25.3%）が最も多く、「老人などに対する介護保健サービス」（21.0%）と続きます。

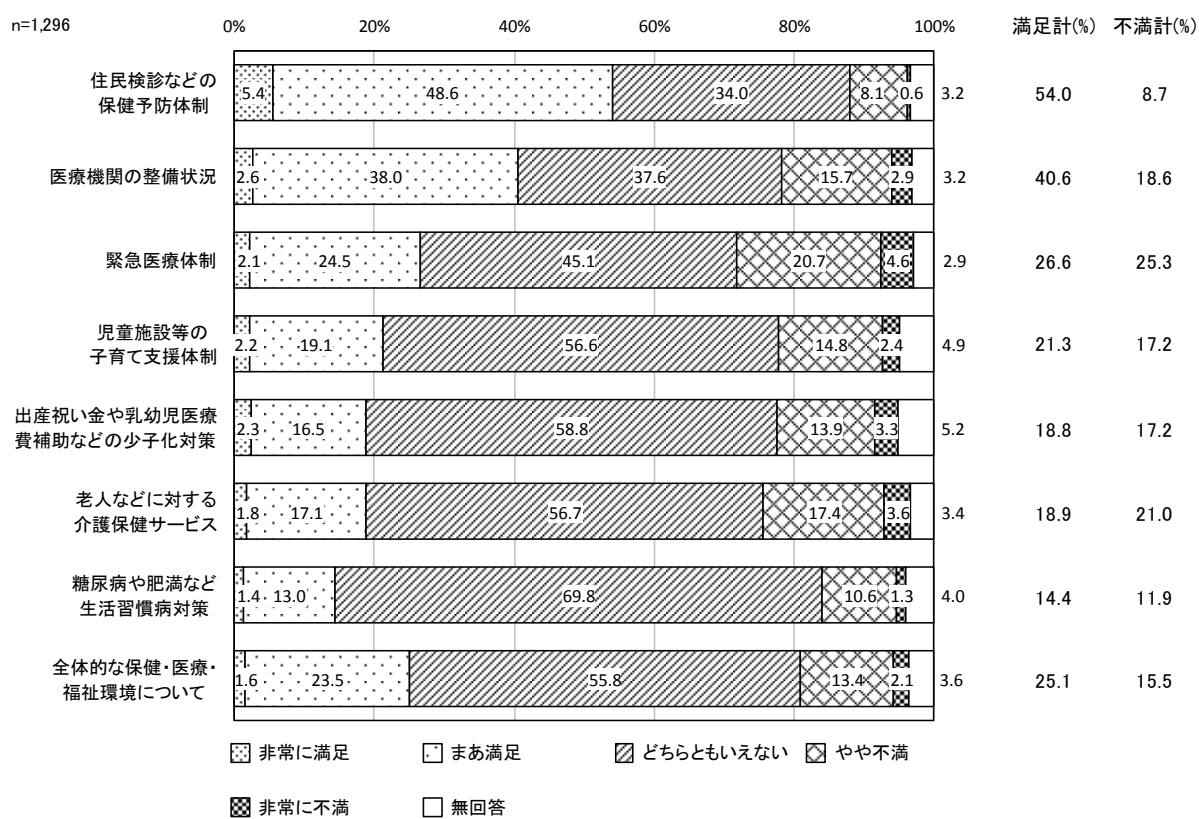


図 3.7 現在の満足度 4)保健・医療・福祉環境

5) 教育・文化環境

教育・文化環境で、満足は「文化施設（図書館や美術館など）の整備状況」
 不満は「スポーツやレクリエーション施設の整備状況」

- 教育・文化環境で満足しているもの（非常に満足+まあ満足）の計は、「文化施設（図書館や美術館など）の整備状況」（41.5%）が最も多く、「文化財などの保存・整備状況」（30.7%）、「幼稚園、小・中学校の施設の整備状況」（28.6%）と続きます。
- 教育・文化環境で不満なもの（非常に不満+やや不満）の計は、「スポーツやレクリエーション施設の整備状況」（23.4%）が最も多く、「保育園などの設置状況」（15.5%）、「社会人や高齢者のための生涯学習などの状況」（13.1%）と続きます。

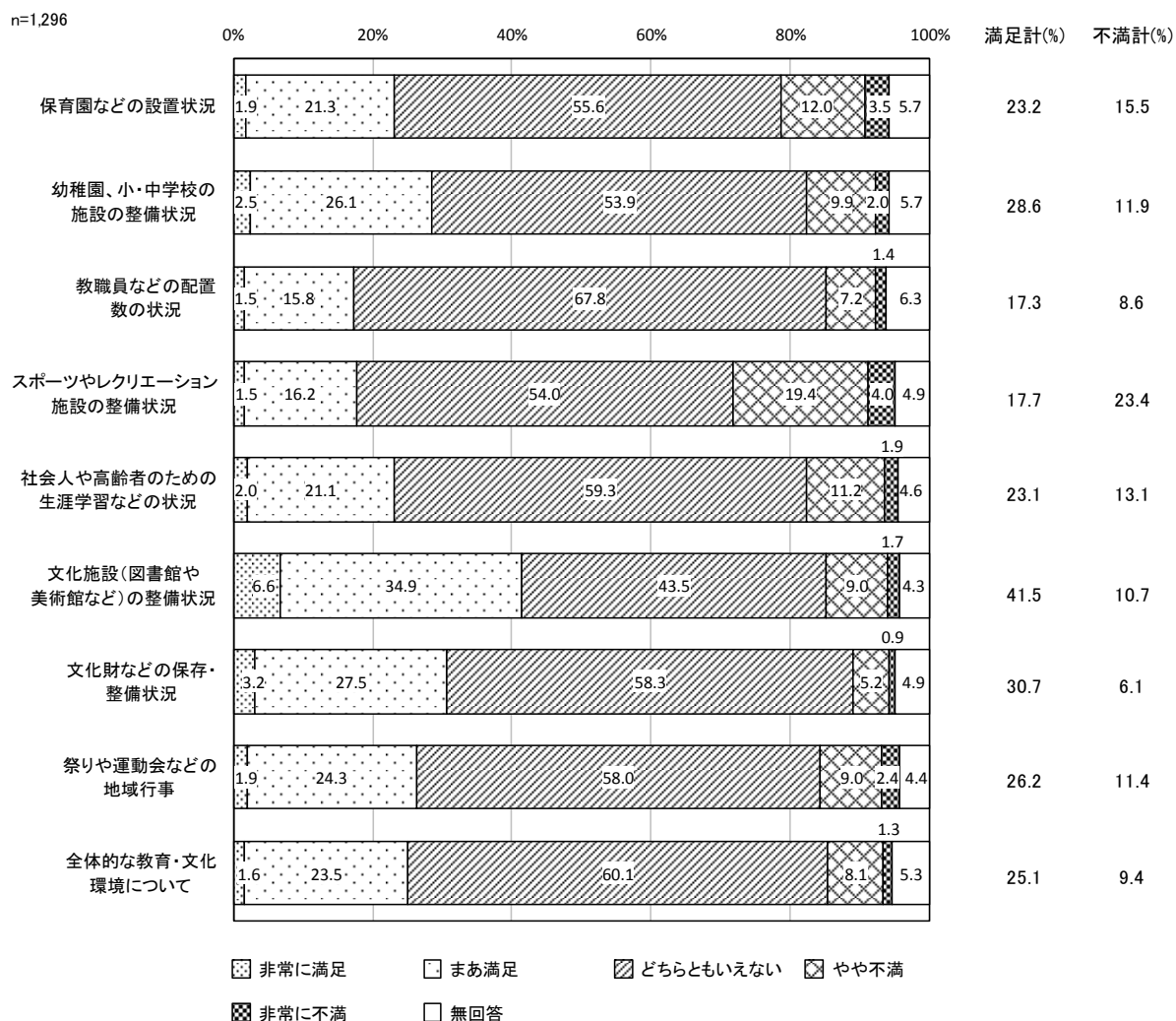


図 3.8 現在の満足度 5)教育・文化環境

6) 行政環境

行政環境で、満足は「町広報や回覧などの町の広報活動」
 不満は「役場の職員の対応・態度」(満足でも2番目)

- 行政環境で満足しているもの(非常に満足+まあ満足)の計は、「町広報や回覧などの町の広報活動」(39.4%)が最も多く、「役場の職員の対応・態度」(38.4%)と続きます。
- 行政環境で不満なもの(非常に不満+やや不満)の計は、「役場の職員の対応・態度」(18.3%)が最も多く、「役場の事務処理のスピード」(16.5%)と続きます。

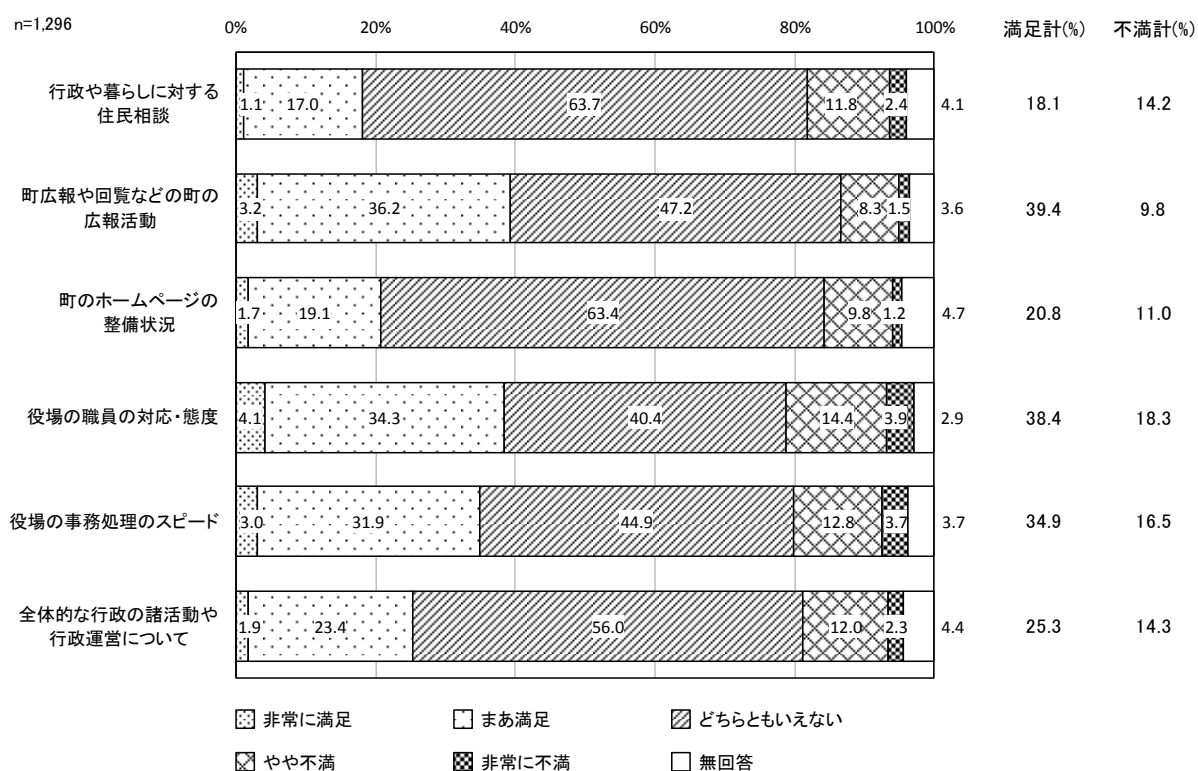


図 3.9 現在の満足度 6)行政環境

(2) 今後の重要度

1) 居住環境

居住環境で重要なものは
「ごみの収集状況」が最も多い

● 居住環境で重要なもの（非常に重要+まあ重要の計）は、「ごみの収集状況」（80.4%）が最も多く、「消防、防災対策」（79.9%）、「自然の豊かさ」（78.7%）、「水道の整備状況」（78.7%）、「自然環境の保全」（78.2%）と続きます。

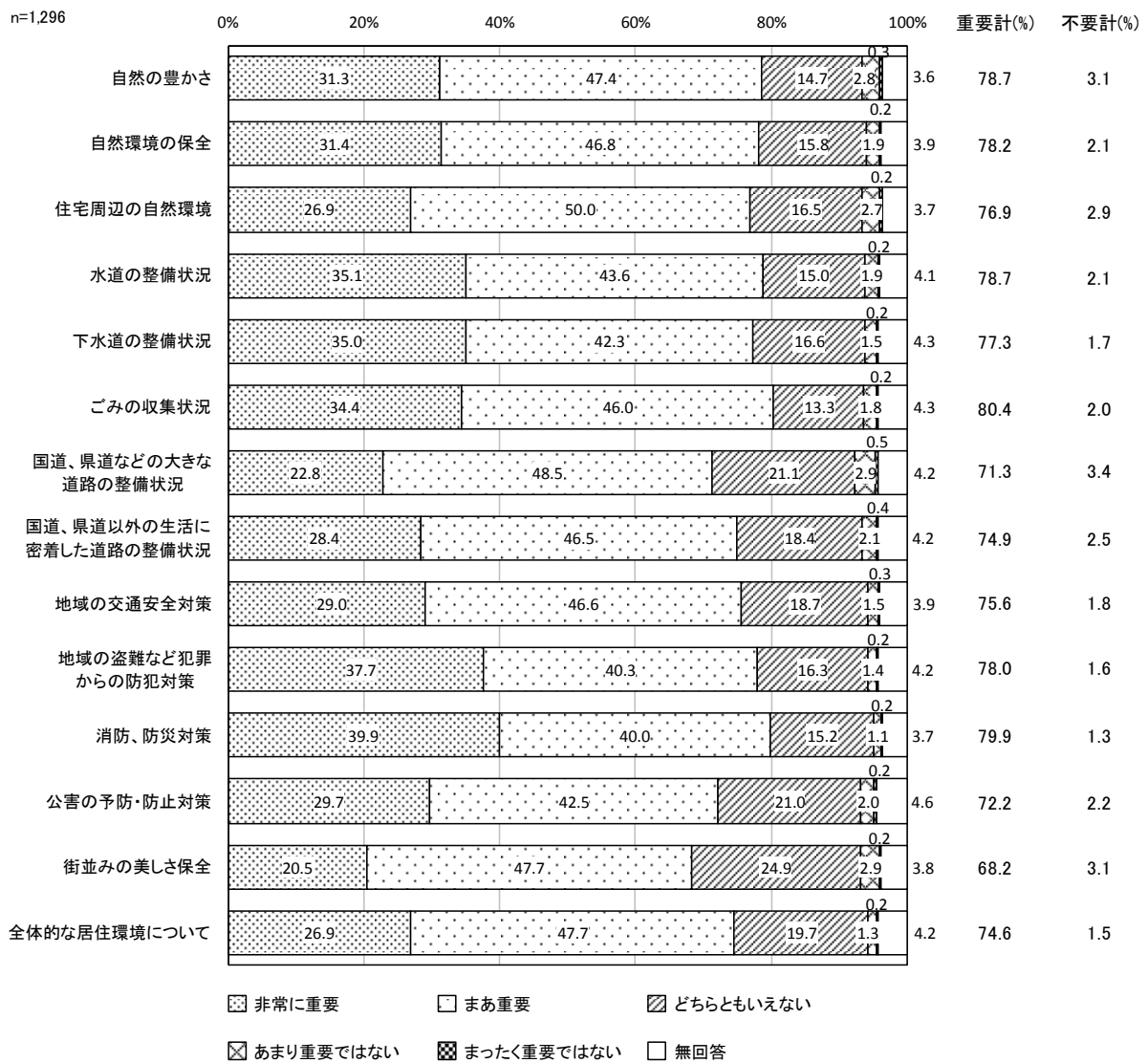


図 3.10 今後の重要度 1)居住環境

2) 生活環境

生活環境で重要なものは
「日常の買い物の便利さ」が最も多い

●生活環境で重要なもの（非常に重要+まあ重要の計）は、「日常の買い物の便利さ」（76.6%）が最も多く、「全体的な生活環境について」（76.1%）、「鉄道やバスなどの公共交通の状況」（75.4%）と続きます。

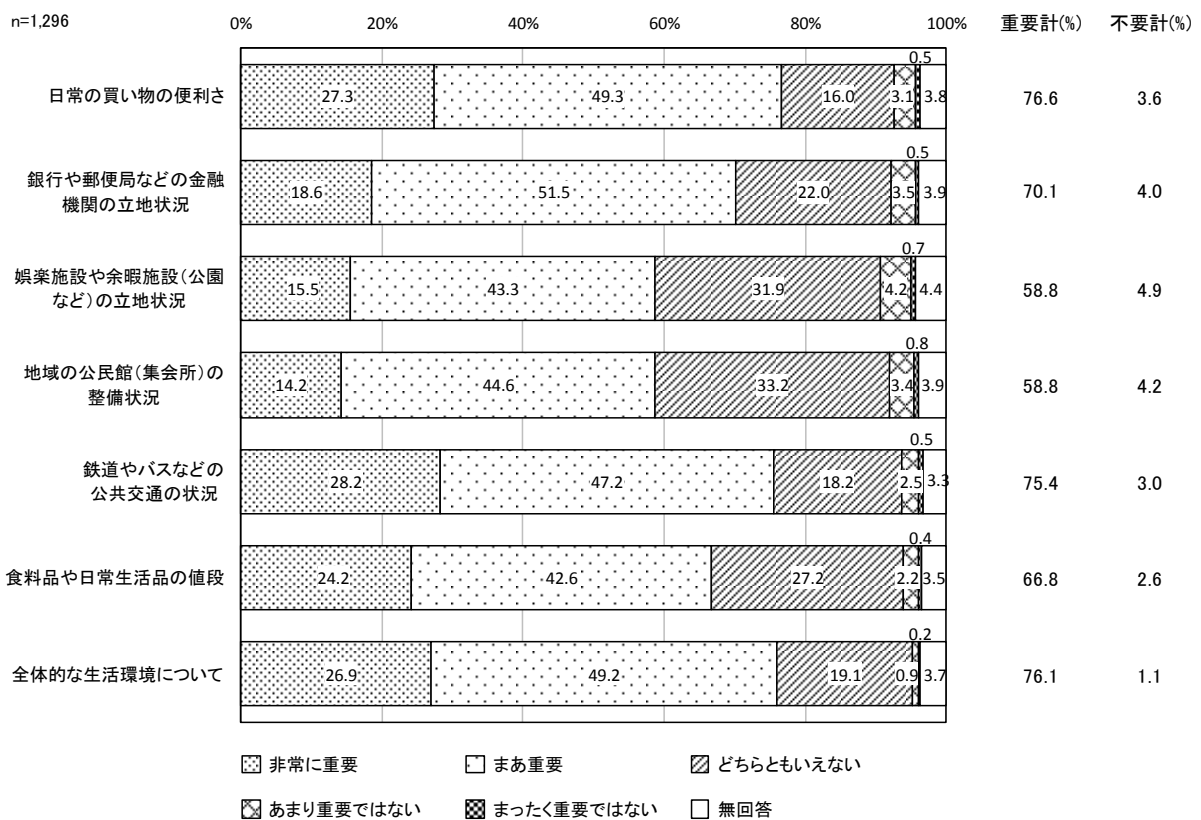


図 3.11 今後の重要度 2)生活環境

3) 産業環境

産業環境で重要なものは
「働く場所や就業機会の多さ」が最も多い

●産業環境で重要なもの（非常に重要+まあ重要の計）は、「働く場所や就業機会の多さ」（68.3%）が最も多く、「商業・サービス業の振興・整備状況」（54.8%）、「全体的な産業環境について」（53.2%）と続きます。

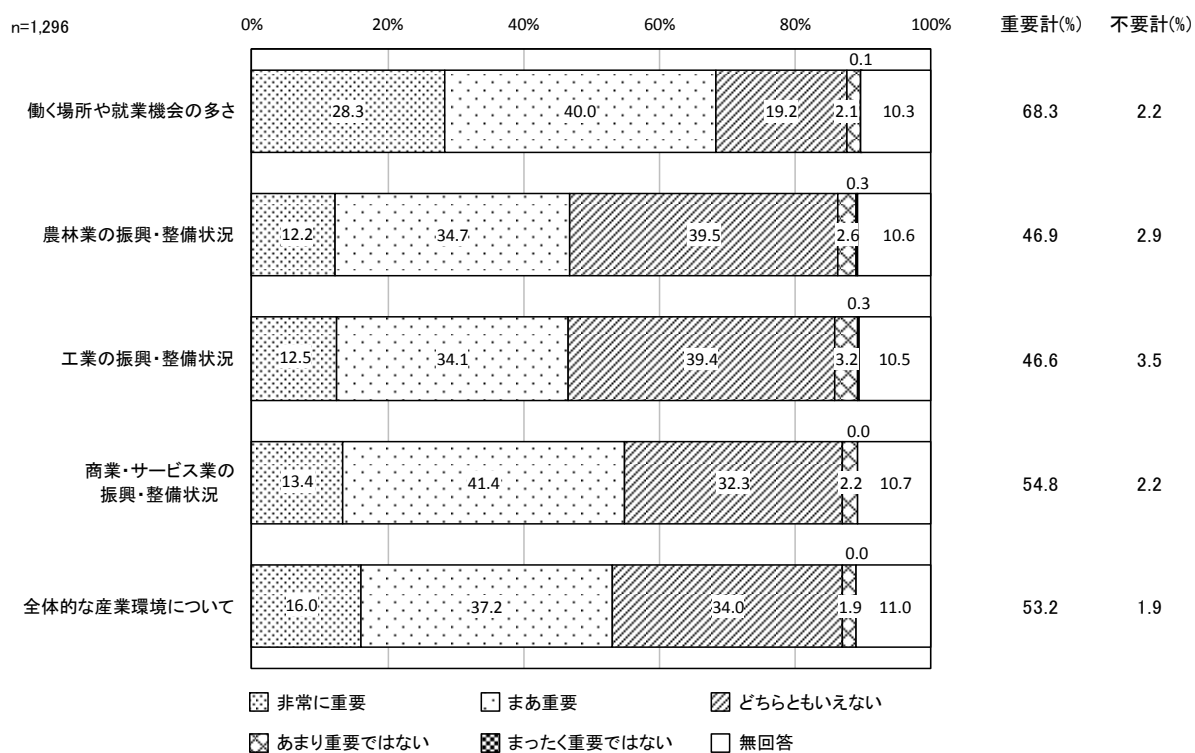


図 3.12 今後の重要度 3)産業環境

4) 保健・医療・福祉環境

保健・医療・福祉環境で重要なものは

「緊急医療体制」が最も多い

●保健・医療・福祉環境で重要なもの(非常に重要+まあ重要の計)は、「緊急医療体制」(73.0%)が最も多く、「医療機関の整備状況」(72.2%)、「住民検診などの保健予防体制」(68.5%)、「全体的な保健・医療・福祉環境について」(67.9%)、「老人などに対する介護保健サービス」(67.7%)と続きます。

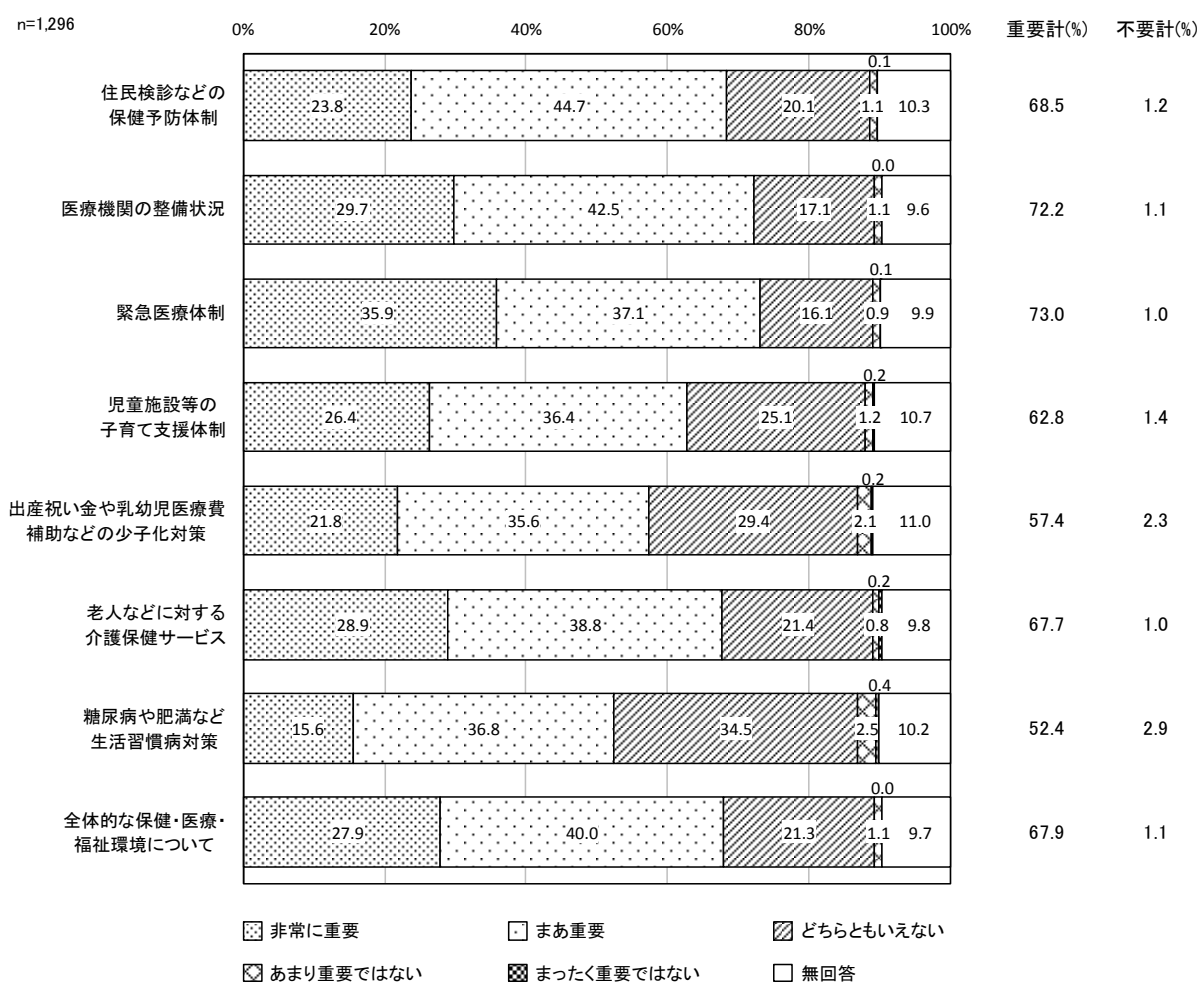


図 3.13 今後の重要度 4)保健・医療・福祉環境

5) 教育・文化環境

教育・文化環境で重要なものは

「保育園などの設置状況」が最も多い

●教育・文化環境で重要なもの（非常に重要+まあ重要の計）は、「保育園などの設置状況」（55.8%）が最も多く、「幼稚園、小・中学校の施設の整備状況」（55.7%）、「全体的な教育・文化環境について」（48.3%）、「文化施設（図書館や美術館など）の整備状況」（48.2%）、「社会人や高齢者のための生涯学習などの状況」（46.0%）と続きます。

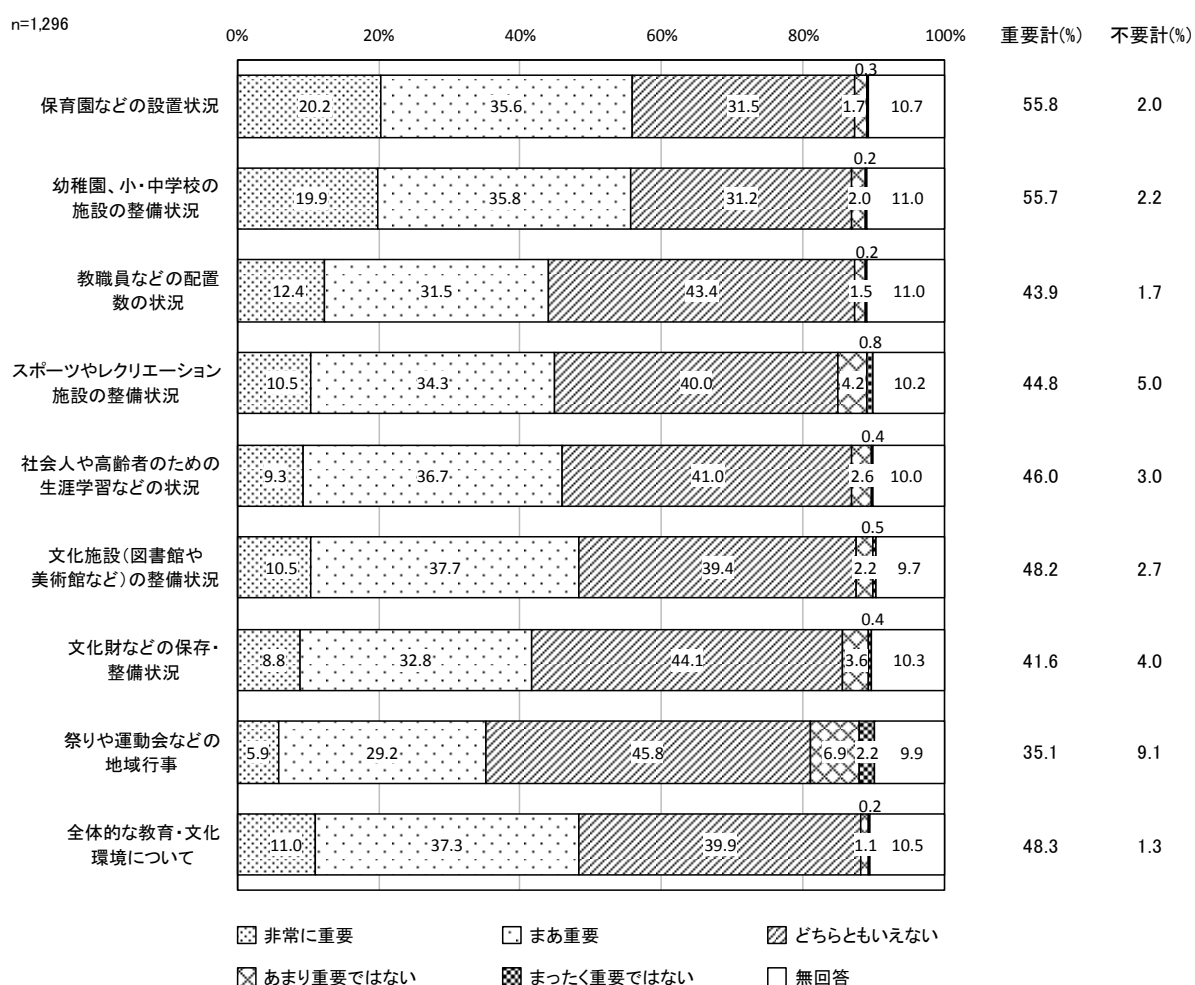


図 3.14 今後の重要度 5)教育・文化環境

6) 行政環境

行政環境で重要なものは
「役場の職員の対応・態度」が最も多い

●行政環境で重要なもの(非常に重要+まあ重要の計)は、「役場の職員の対応・態度」(62.0%)が最も多く、「役場の事務処理のスピード」(60.7%)、「全体的な行政の諸活動や行政運営について」(55.6%)と続きます。

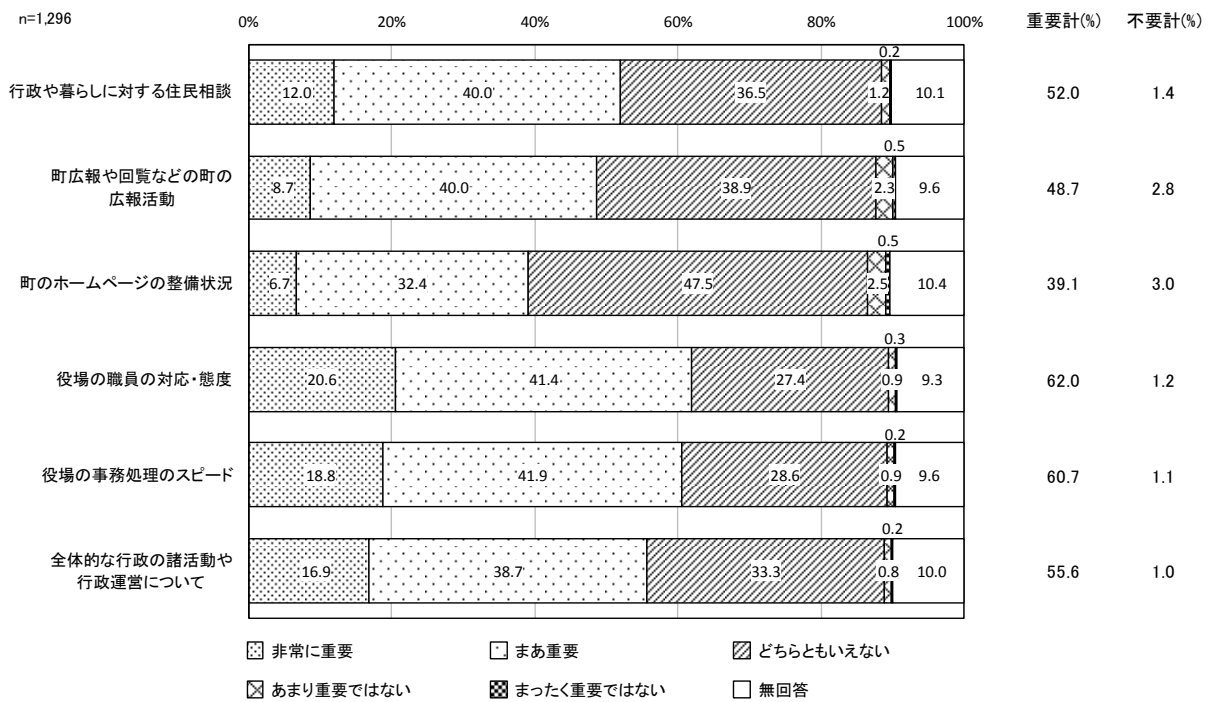


図 3.15 今後の重要度 6)行政環境

3.2.2 今後力を入れてほしい事柄

問 2-2 今後力を入れてほしい事柄

次の a から e までの各項目の中から、今後力を入れてほしい事柄や要望の高いものを 3つ選び、○印をつけるとともに、最も重視するもの1つに二重丸(◎)をつけてください。

(1) 居住・生活環境について

居住・生活環境について、「○」「◎」ともに
「消防、緊急医療体制の強化、大規模災害（特に地震及び水害）に備えた総合防災対策」
が最も多い

●居住・生活環境については、「○」は、「消防、緊急医療体制の強化、大規模災害（特に地震及び水害）に備えた総合防災対策」（65.2%）が最も多く、「街路灯、防犯灯の整備などの防犯対策」（33.0%）と続きます。「◎」は、「消防、緊急医療体制の強化、大規模災害（特に地震及び水害）に備えた総合防災対策」（39.0%）が最も多く、「鉄道、バスなどの地域公共交通対策」（10.0%）と続きます。

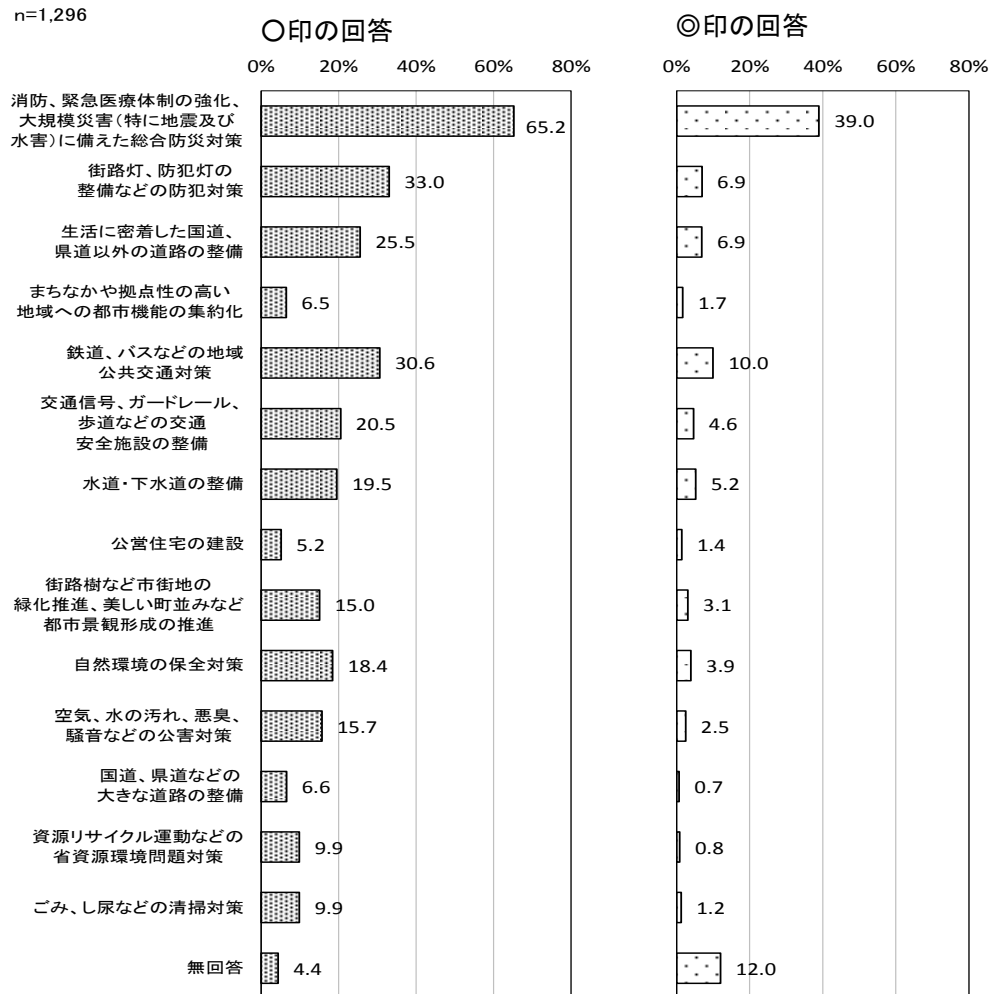


図 3.16 今後力を入れてほしい事柄 (1)居住・生活環境について

(2) 産業環境について

産業環境について、「○」「◎」ともに

「若者・高齢者就業機会の確保」が最も多い

●産業環境については、「○」は、「若者・高齢者就業機会の確保」(73.0%)が最も多く、「地場野菜や酪農の育成など農林業の振興」(41.6%)と続きます。「◎」は、「若者・高齢者就業機会の確保」(40.7%)が最も多く、「幹線道路沿道等への都市機能(商業・医療などの生活サービス施設)の立地促進」(10.6%)と続きます。

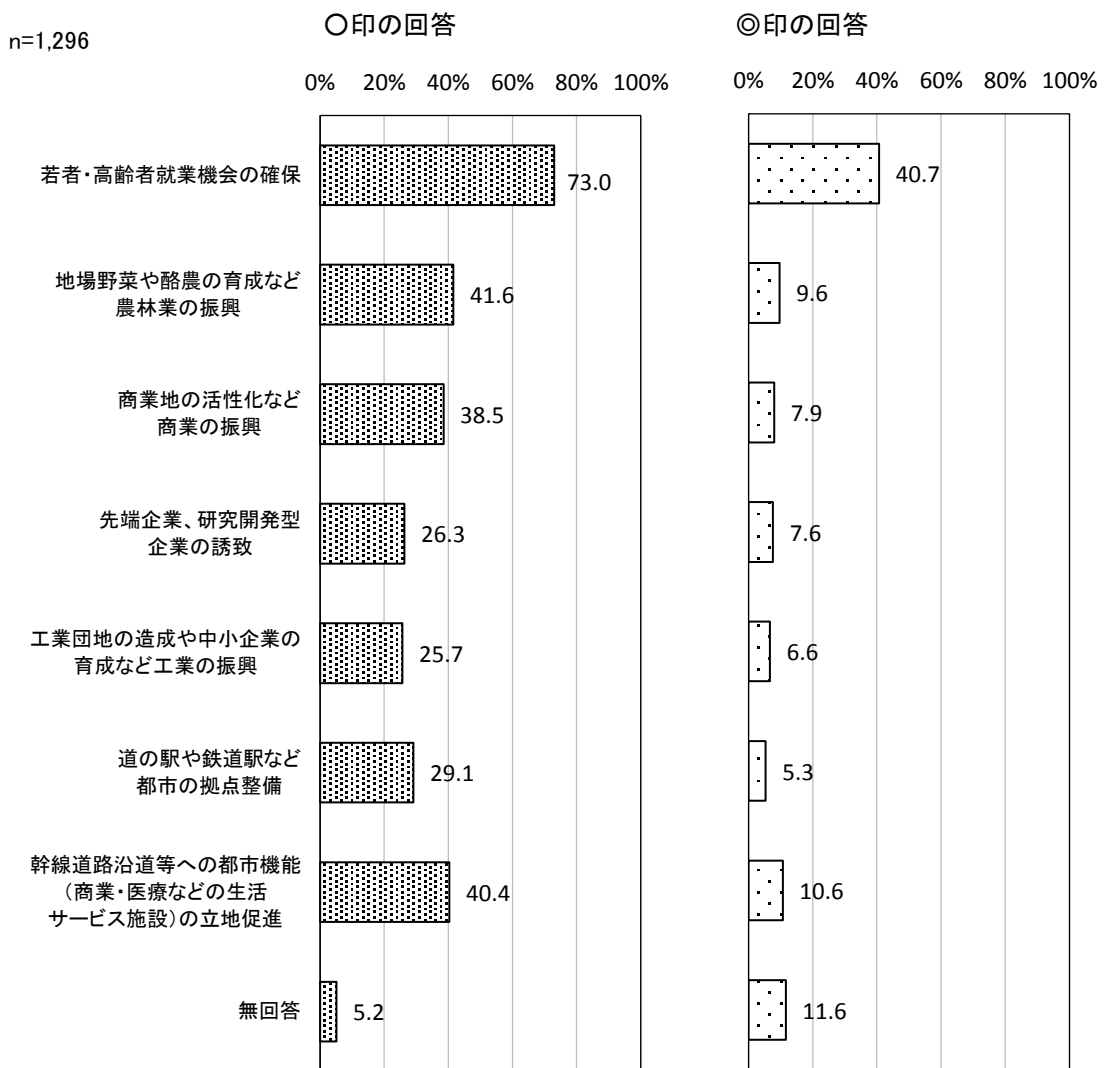


図 3.17 今後力を入れてほしい事柄 (2)産業環境について

(3) 保健・医療・福祉環境について

保健・医療・福祉環境について、「○」は「介護保険サービスの充実」

「◎」は「子育て支援対策の推進」が最も多い

●保健・医療・福祉環境については、「○」は、「介護保険サービスの充実」(63.7%)が最も多く、「子育て支援対策の推進」(62.7%)、「高齢者の社会参加の促進と生きがい対策の充実」(57.3%)と続きます。「◎」は、「子育て支援対策の推進」(29.0%)が最も多く、「介護保険サービスの充実」(20.3%)、「在宅介護支援サービスの拡充」(17.4%)と続きます。

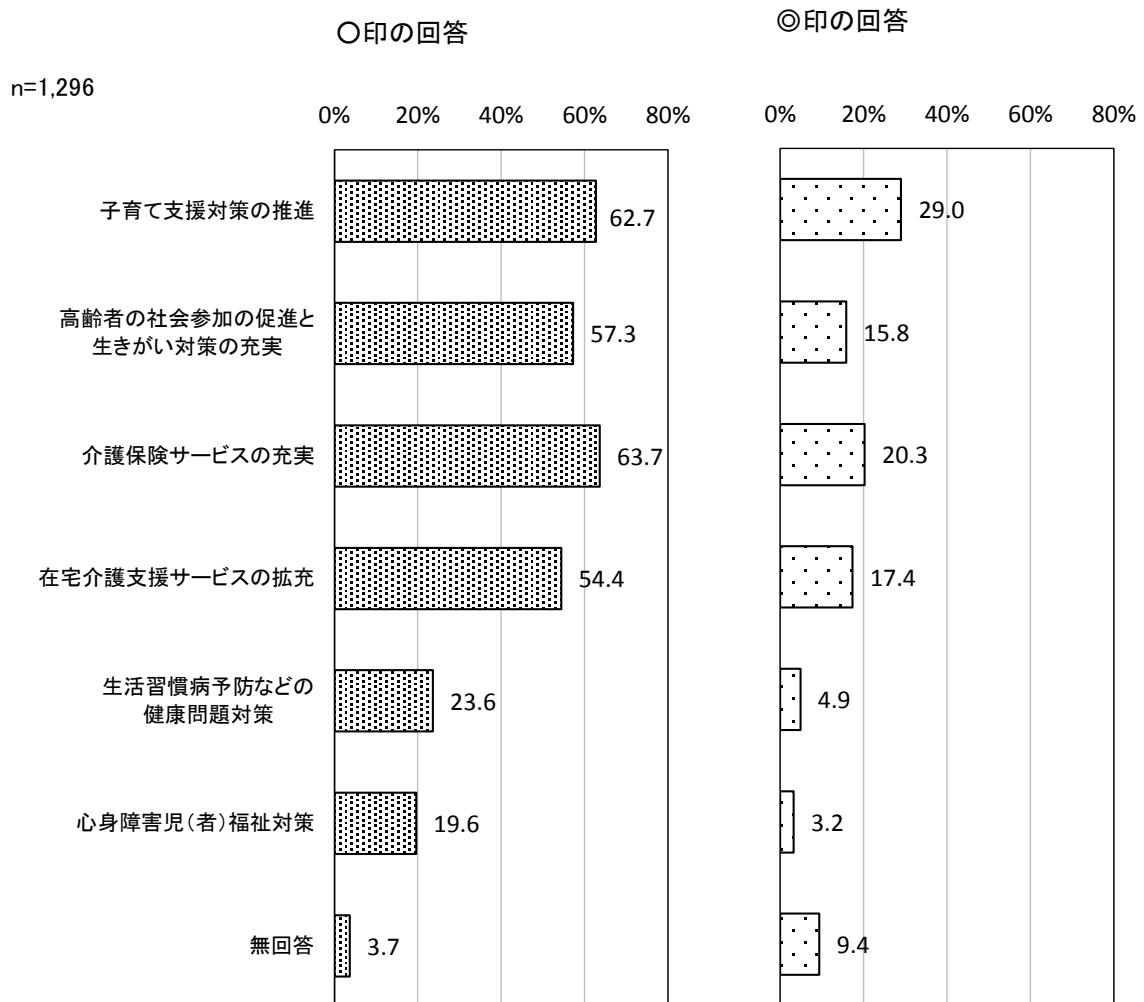


図 3.18 今後力を入れてほしい事柄 (3)保健・医療・福祉環境について

(4) 教育・文化環境について

教育・文化環境について、「○」「◎」ともに

「幼稚園、小・中学校などの学校教育施設の整備」が最も多い

●教育・文化環境については、「○」は、「幼稚園、小・中学校などの学校教育施設の整備」(47.5%)が最も多く、「体育館、運動場、公園、広場などの整備」(44.4%)と続きます。「◎」は、「幼稚園、小・中学校などの学校教育施設の整備」(18.5%)が最も多く、「体育館、運動場、公園、広場などの整備」(14.8%)と続きます。

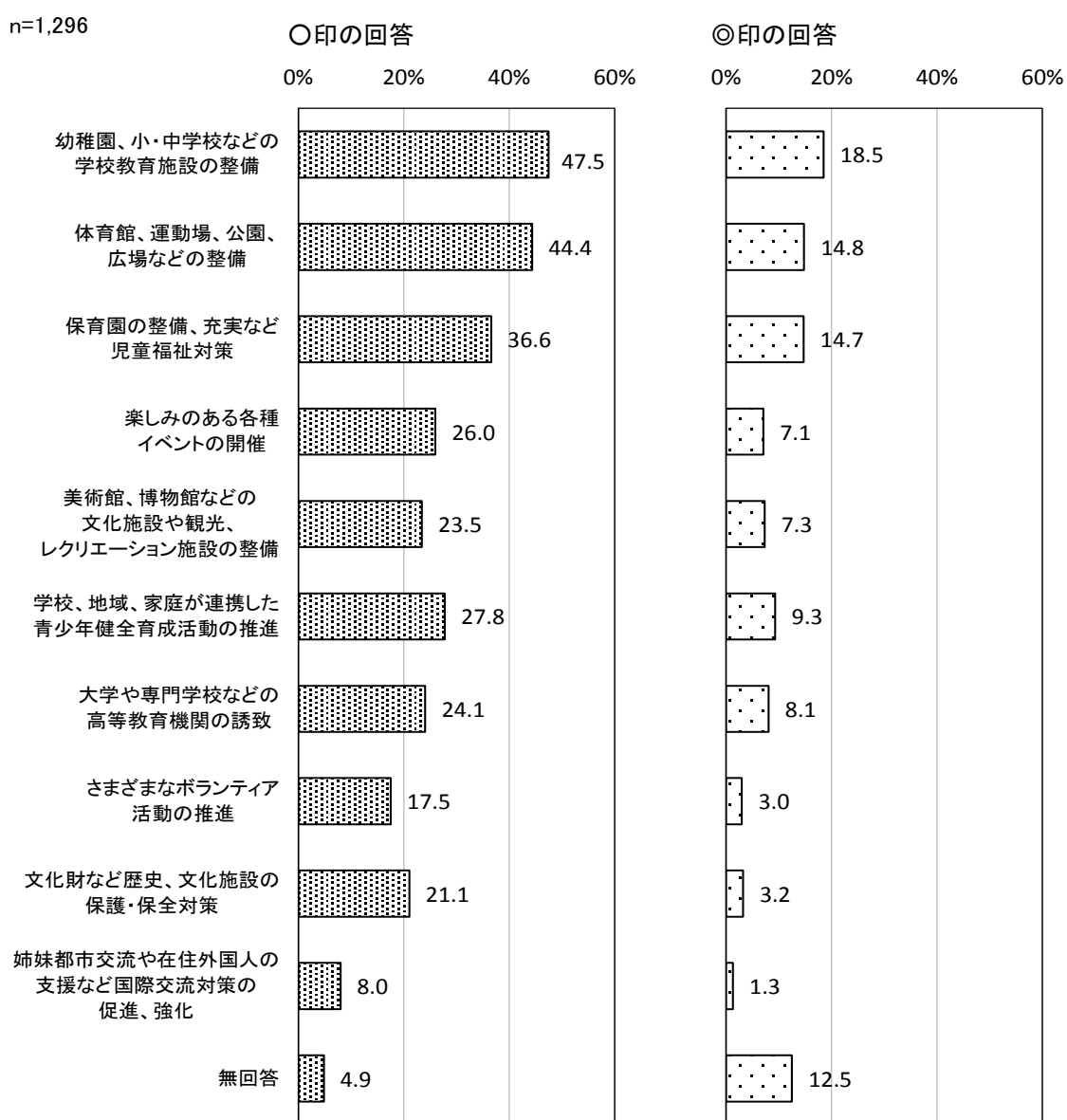


図 3.19 今後力を入れてほしい事柄 (4)教育・文化環境について

(5) 行政環境について（最も要望の高いものを◎で囲んで下さい）

行政環境について、「◎」は

「隣接市町との事業の共同実施など広域行政の推進」が最も多い

●行政環境については、「◎」は、「隣接市町との事業の共同実施など広域行政の推進」(29.5%)が最も多く、「行政への住民参加の推進」(24.1%)、「広報活動の充実、インターネットなどの地域情報化の推進」(15.6%)と続きます。

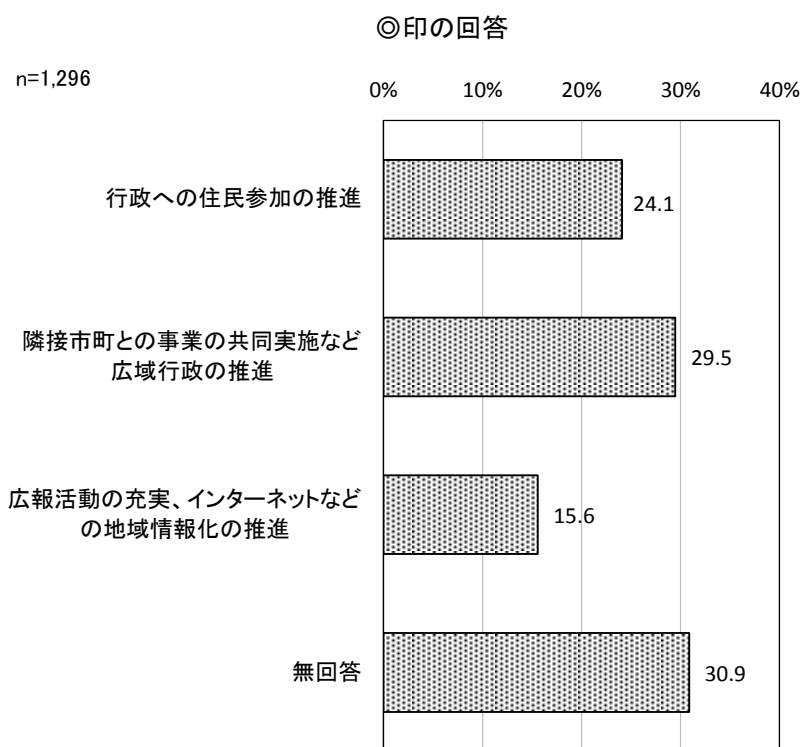


図 3.20 今後力を入れてほしい事柄 (5)行政環境について

3.3 まちづくりの目標について

3.3.1 まちづくりの目標として重点的に進めたい施策

問 3-1 まちづくりの目標として重点的に進めたい施策

総合計画におけるまちづくりの目標についてお伺いします。

今後 10 年間の「第 6 次総合計画」を策定するうえでまちづくりの目標としてどのような施設を重点的に進めたらよいとお考えですか。次の中からあなたのお考えに最も近いものを 3 つまで 選び、○印をつけてください。

まちづくりの目標として重点的に進めたい施策は

「医療体制の充実」が最も多い

- まちづくりの目標として重点的に進めたい施策は、「医療体制の充実」(28.1%) が最も多く、「高齢者福祉の充実」(24.5%)、「国民健康保険・高齢者の医療制度の充実」(18.4%)、「就労の場の確保」(16.0%)、「健全な町財政の運営」(15.0%)、「防災体制の充実」(14.7%)、「公共交通網の整備(バス・タクシーなど)」(12.8%)、「児童福祉の充実」(10.0%) と続きます。

項目名 【3つまでの複数回答】	回答数	構成比 (%)	項目名 【3つまでの複数回答】	回答数	構成比 (%)
医療体制の充実	364	28.1	義務教育の充実	65	5.0
国民健康保険・高齢者の医療制度の充実	239	18.4	防犯対策の充実	97	7.5
高齢者福祉の充実	318	24.5	幼児教育の充実	60	4.6
健全な町財政の運営	195	15.0	エネルギーの有効利用	45	3.5
就労の場の確保	208	16.0	地球環境の保全	33	2.5
児童福祉の充実	129	10.0	都市計画の基本方向	44	3.4
自然環境の保全	106	8.2	効率的な行政の推進	54	4.2
道路交通網の整備 (自動車・自転車など)	118	9.1	障害者福祉の充実	61	4.7
公共交通網の整備 (バス・タクシーなど)	166	12.8	地域福祉の推進	50	3.9
防災体制の充実	190	14.7	健康づくりの充実	73	5.6
公園・緑地等の整備	97	7.5	スポーツ・レクリエーションの振興	56	4.3
上水道の整備	42	3.2	商業の振興	63	4.9
農林業の振興	35	2.7	都市基盤の整備	29	2.2
治山治水・河川改修	64	4.9	生涯学習の充実	40	3.1
水資源の保全	50	3.9	消防体制の充実	22	1.7
国民年金の拡充	99	7.6	町民参画の推進	13	1.0
新産業の育成	56	4.3	広域行政の推進	17	1.3
観光の振興	39	3.0	消費者保護の充実	23	1.8
住宅地の開発整備	16	1.2	高度情報化の推進	14	1.1
交通安全の推進	44	3.4	男女共同参画社会の推進	11	0.8
斎場・墓苑の整備	26	2.0	文化財の保護・保全	14	1.1
芸術・文化の振興	31	2.4	国際交流・地域交流の充実	13	1.0
生活排水の処理	31	2.4	広報・公聴活動の充実	4	0.3
青少年健全育成の充実	38	2.9	その他	14	1.1
工業の振興	39	3.0	無回答	44	3.4
廃棄物処理の拡充	41	3.2			
合計			1,296 100.0		

図 3.21 まちづくりの目標として重点的に進めたい施策

3.3.2 まちづくりの目標

問 3-2 まちづくりの目標

これからの5年間の函南町のまちづくりを簡単な言葉で表すとどのような言葉がふさわしいと思いますか。次の中からあなたのお考えに最も近いものを1つ選び、○印をつけてください。

これからの5年間のまちづくりを表すにふさわしい言葉は

「安全都市」が最も多い

- これから5年間のまちづくりを表すのにふさわしい言葉は、「安全都市」(18.4%)が最も多く、「健康都市」(16.1%)、「福祉都市」(14.9%)、「自然都市」(12.8%)、「環境都市」(10.5%)と続きます。

n=1,296

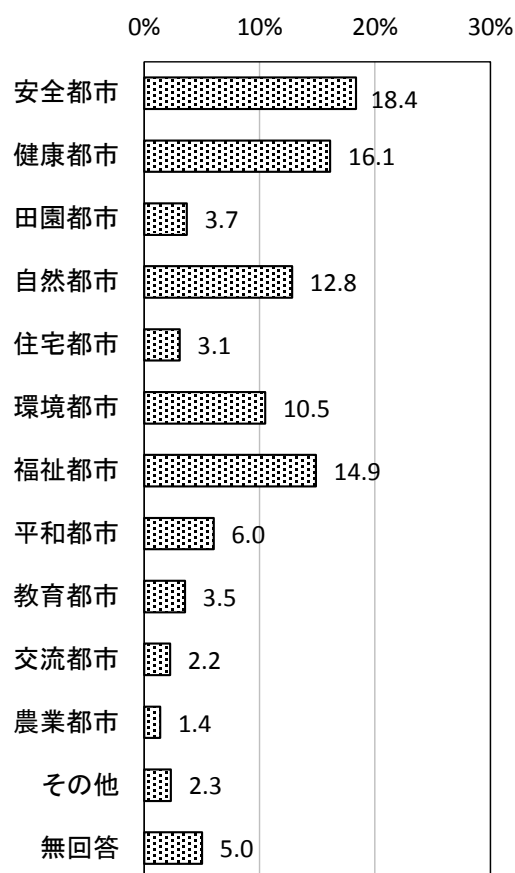


図 3.22 まちづくりの目標

3.4 地域連携の推進について

3.4.1 参加したことの地域活動

問 4-1 参加したことの地域活動

あなたが参加したことの活動はありますか。次の中からあてはまるものを全て選び、○印をつけてください。

参加したことの地域活動は
「地域のお祭りやスポーツ大会などのイベント活動」が多い

●参加したことの地域活動は、「地域のお祭りやスポーツ大会などのイベント活動」(57.3%)が最も多く、「地域の美化や清掃などの活動」(44.1%)、「資源のリサイクルやごみの減量化に関わる活動」(17.1%)、「花や木を植え、育てる緑化推進活動」(13.8%)と続きます。「参加した活動はない」は17.1%となっています。

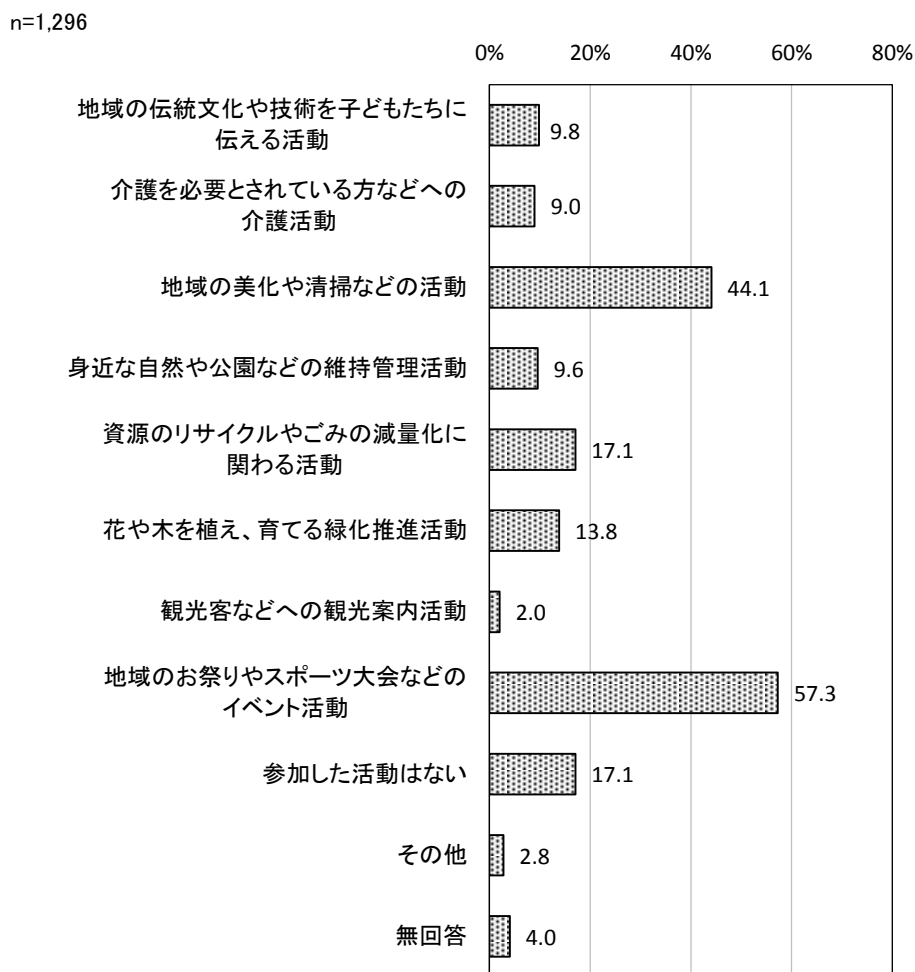


図 3.23 参加したことの地域活動

3.4.2 参加してみたい地域活動

問 4-2 参加してみたい地域活動

あなたが参加しても良いと思う活動はありますか。次の中からあてはまるものを全て選び、○印をつけてください。

参加してみたい地域活動は
「花や木を植え、育てる緑化推進活動」が最も多い

●参加してみたい地域活動は、「花や木を植え、育てる緑化推進活動」(27.8%)が最も多く、「地域のお祭りやスポーツ大会などのイベント活動」(26.5%)、「地域の美化や清掃などの活動」(26.1%)、「身近な自然や公園などの維持管理活動」(19.4%)と続きます。

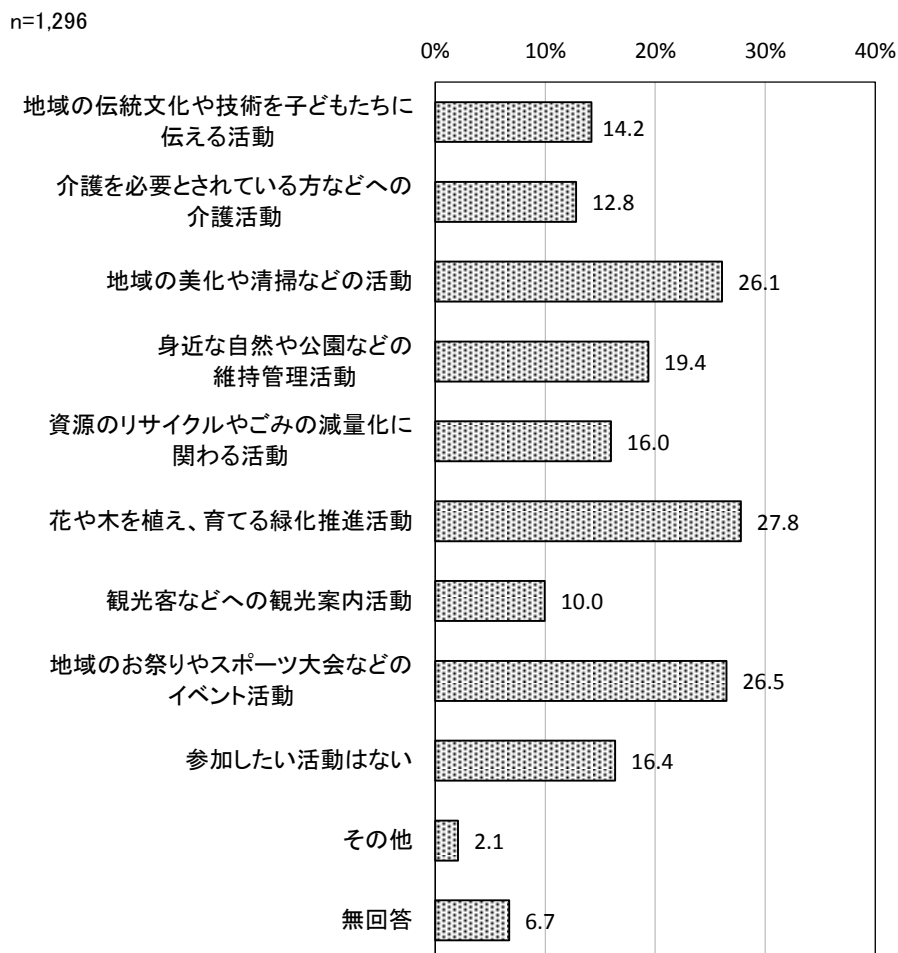


図 3.24 参加してみたい地域活動

3.5 幸福度について

3.5.1 現在の幸福度について

問 5-1 現在の幸福度について

現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点としたとき何点くらいになると思いますか。回答欄に点数をご記入ください。

幸福度を10点満点でみると

「7点」が最も多く、次に「8点」

●幸福度について10点満点の点数で聞いたところ、「7点」(23.2%)が最も多く、「8点」(21.9%)、「5点」(17.0%)、「6点」(12.8%)と続きます。

n=1,296

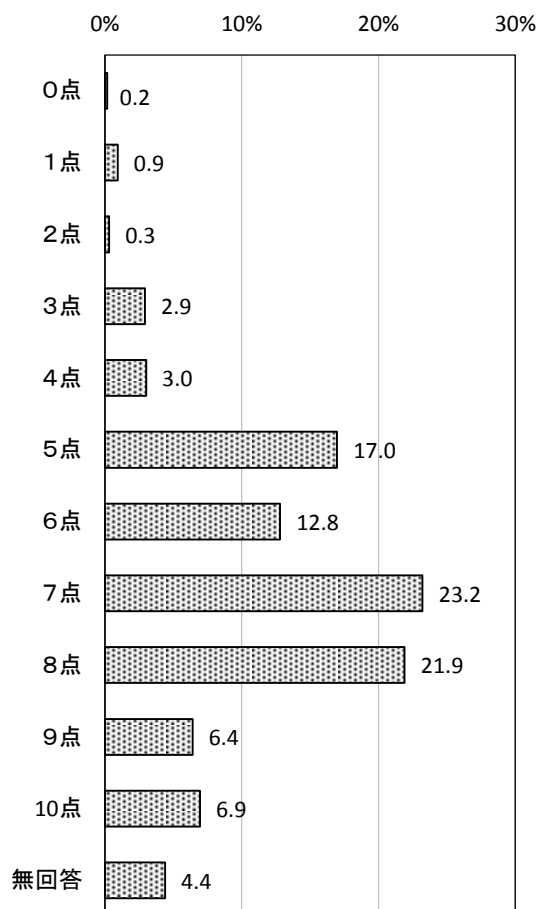


図 3.25 現在の幸福度について

3.5.2 幸福度を判断する際に重視する事項

問 5-2 幸福度を判断する際に重視する事項

問 5-1 で幸福度を判断する際に重視した事項は何ですか。

次の中からあてはまるものを3つ選び、○印をつけるとともに、最も重視するもの1つに二重丸(◎)をつけてください。

幸福度を判断する際に重視する事項は、「○」「◎」ともに

「健康状況」が最も多い

●幸福度を判断する際に重視する事項は、「○」は、「健康状況」(67.7%)が最も多く、「家計の状況」(50.5%)、「家族関係」(42.8%)、「精神的なゆとり」(30.8%)が続きます。「◎」は、「健康状況」(28.0%)が最も多く、「家族関係」(13.0%)、「家計の状況」(11.3%)、「精神的なゆとり」(9.3%)と続きます。

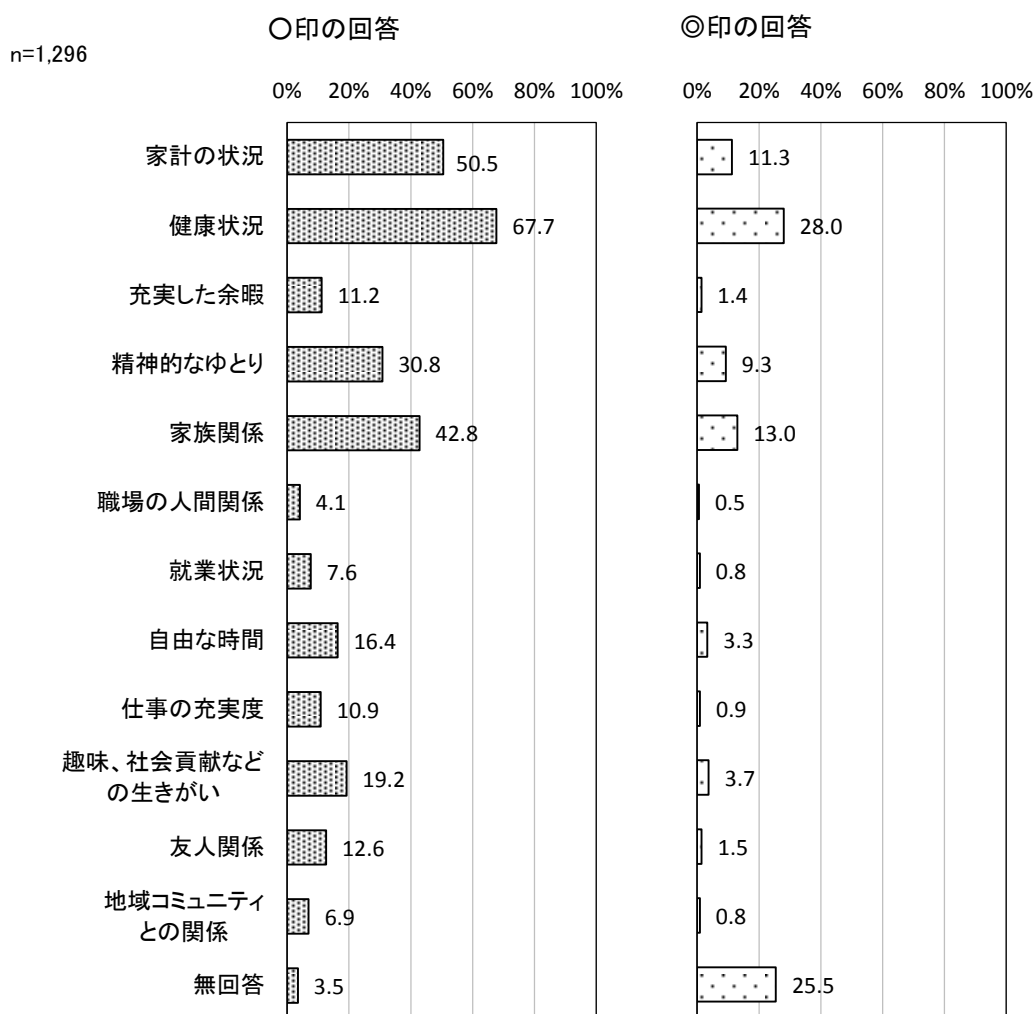


図 3.26 幸福度を判断する際に重視する事項

3.6 土地利用について

3.6.1 土地利用の現状について

問 6-1 土地利用の現状について

函南町は、東部は山間地、西部は平坦地、中央部は丘陵地に区分できます。これらの地域の特色を活かして、将来有効な土地利用を考えなくてはなりません。あなたは、函南町の土地利用の現状について、どのようにお考えですか。

次の中から、あてはまるものを1つ選び、○印をつけてください。

土地利用の現状の満足度については

「不満がある」が「満足している」よりも多い

- 土地利用の現状については、「どちらともいえない」(54.2%)が最も多く、「不満がある」(30.6%)、「満足している」(12.1%)と続きます。

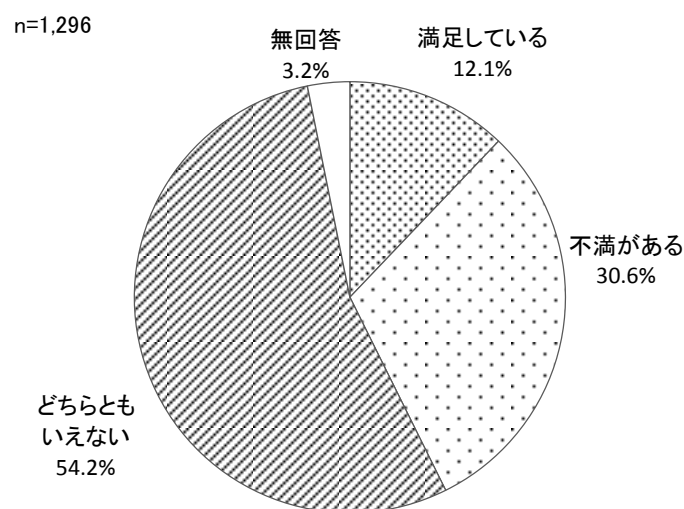


図 3.27 土地利用の現状について

3.6.2 不満と思うところ

問 6-2 不満と思うところ

問 7-1 で 2 とお答えいただいた方にお聞きします。

函南町の土地利用で、不満に思うところを次の中からあてはまるものを 2つ 選び、○印をつけてください。

現在の土地利用で不満と思うところは

「農地が荒廃している」と「山林が荒廃している」が多い

●現在の土地利用で不満と思うところは、「農地が荒廃している」(43.9%) が最も多く、「山林が荒廃している」(42.9%)、「無秩序な宅地化が進んでいる」(31.6%)、「公園・広場等のスペースがない」(30.1%) と続きます。

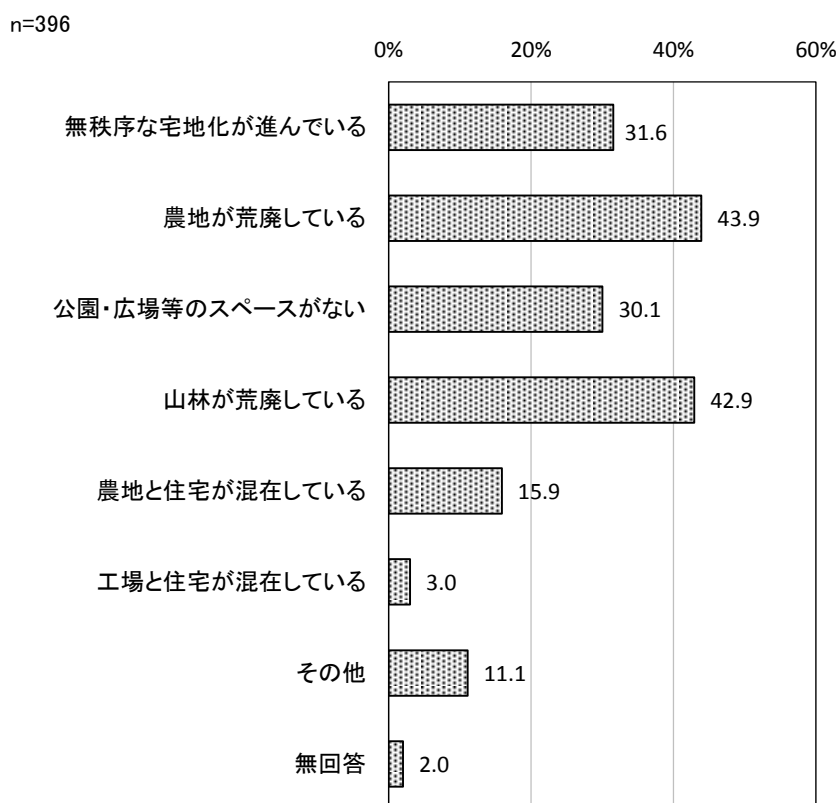


図 3.28 不満と思うところ

3.6.3 将来の土地利用の方向性

問 6-3 将来の土地利用の方向性

あなたがお住まいの地域の今後の土地利用について、どのように進めていくことがよいとお考えですか。次の中から、あてはまるものを2つ選び、○印をつけてください。

今後の土地利用については
「農地と住宅や工場と住宅などを区画し、秩序ある土地利用を進める」
が最も多い

●今後の土地利用については、「農地と住宅や工場と住宅などを区画し、秩序ある土地利用を進める」(40.7%)が最も多く、「農地や山林を保全していき、開発は望まない」(28.5%)、「田園都市にふさわしいレクリエーション・観光のための用地を拡大する」(22.7%)、「酪農や都市型農業を育成するための周辺環境整備を考えた土地利用をする」(21.5%)と続きます。

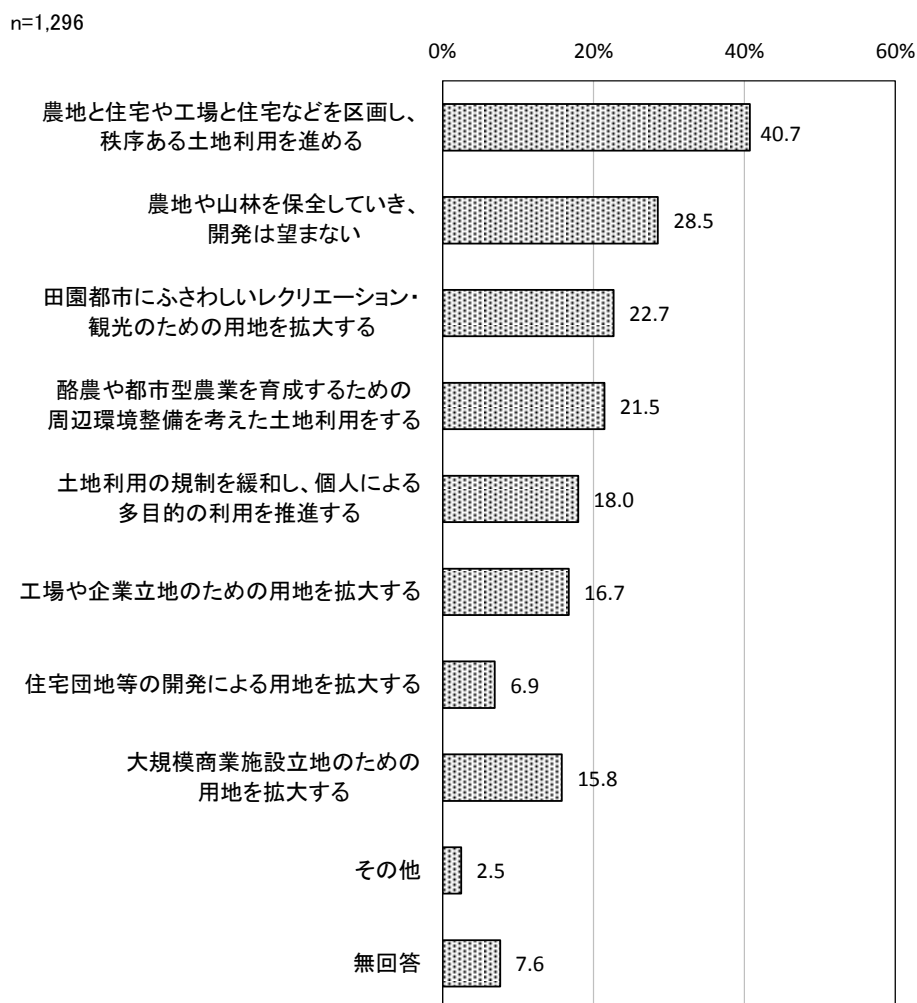


図 3.29 将来の土地利用の方向性